

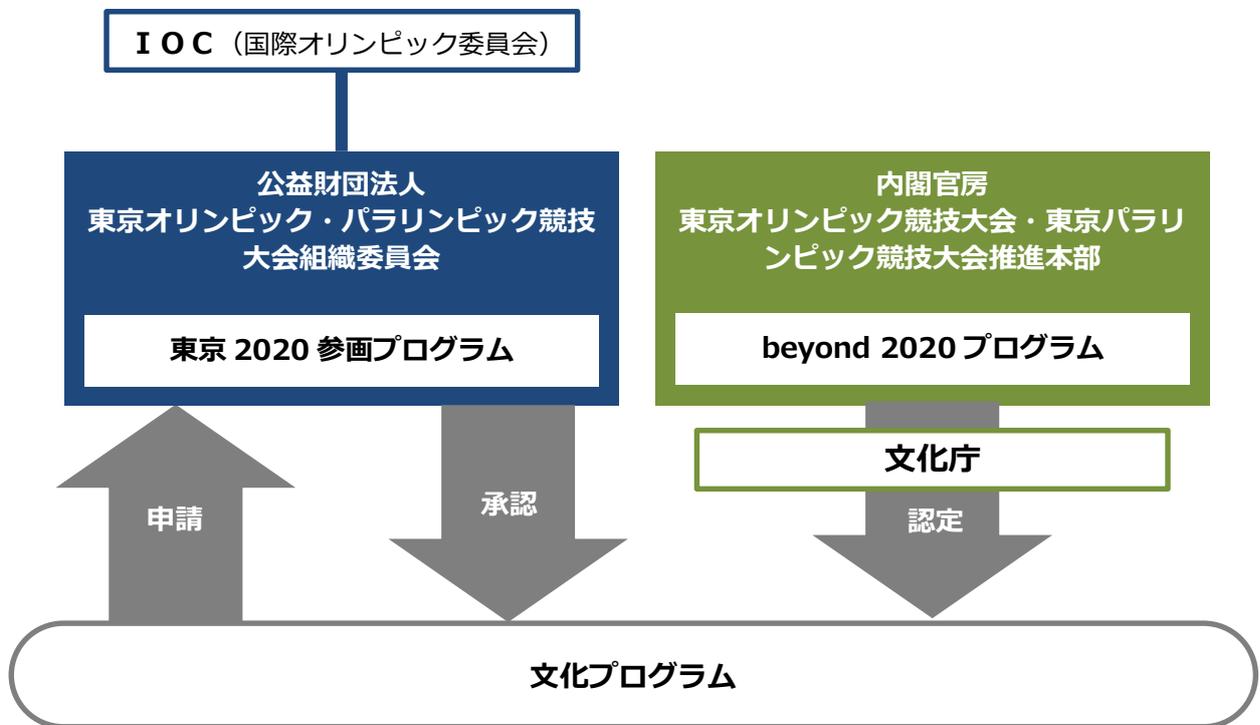
## 文化プログラムの概要

### 1. 2020 年に向けた文化プログラムの取り組み

#### (1) 文化プログラムについて

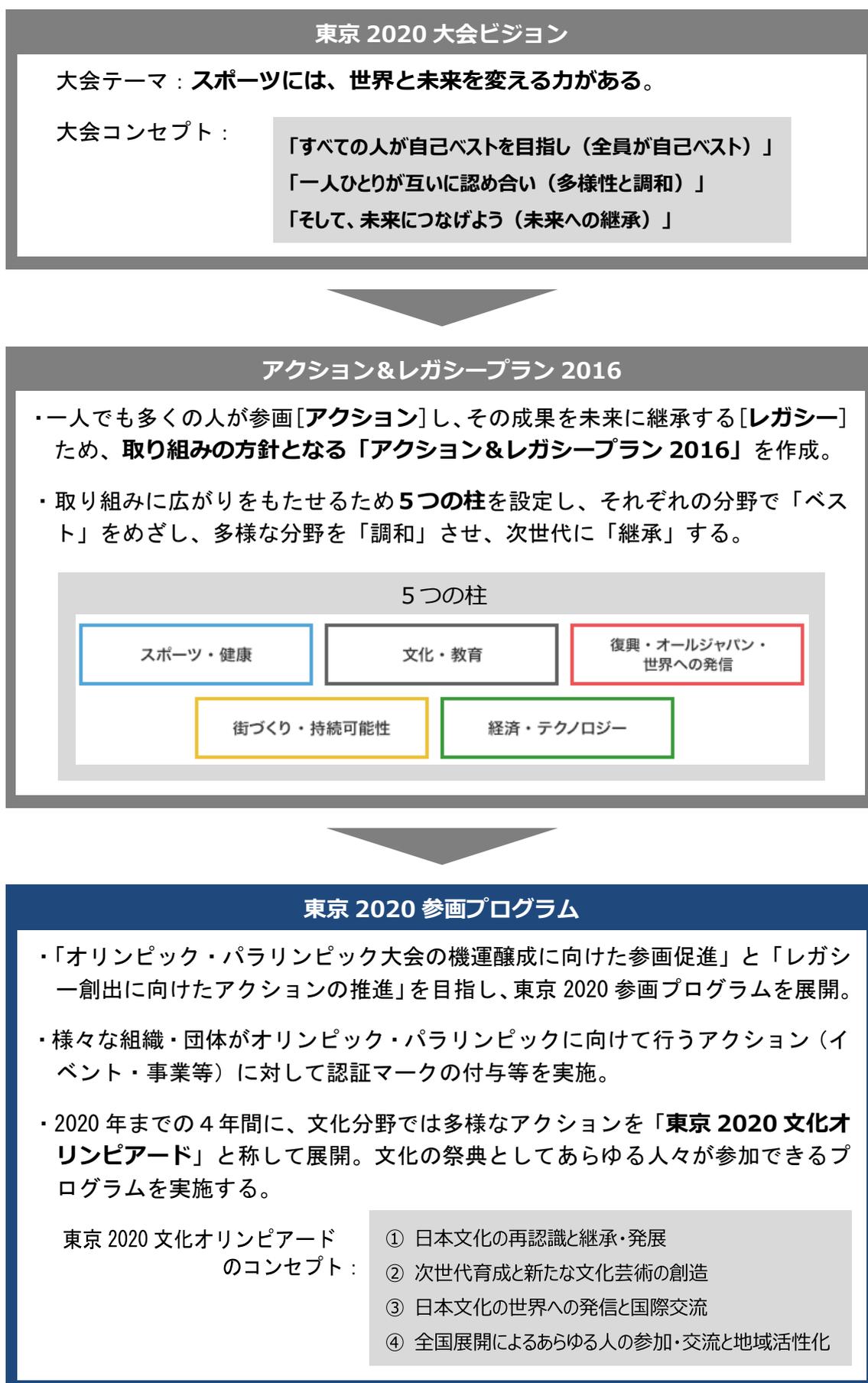
オリンピック憲章では、スポーツを文化や教育と融合させ、より良い生き方を創造することが根本原則となっており、開催国は文化プログラムの実施を義務付けられている。

また、我が国では 2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京 2020 大会という。）、および 2019 年に開催されるラグビーワールドカップを契機に取り組みされる文化プログラムを活用し、「文化芸術立国」の実現を目指している。



## 2. 東京 2020 大会に向けた文化プログラム

## (1) 組織委員会が進める文化プログラムの概要



## (2) 東京 2020 参画プログラムの枠組み

東京 2020 大会ビジョンの 3 つのコンセプトと、アクション&レガシープラン 2016 の 5 つの柱のコンセプトに合致しているアクションが参画プログラムの対象となる。

### <2つのプログラム>

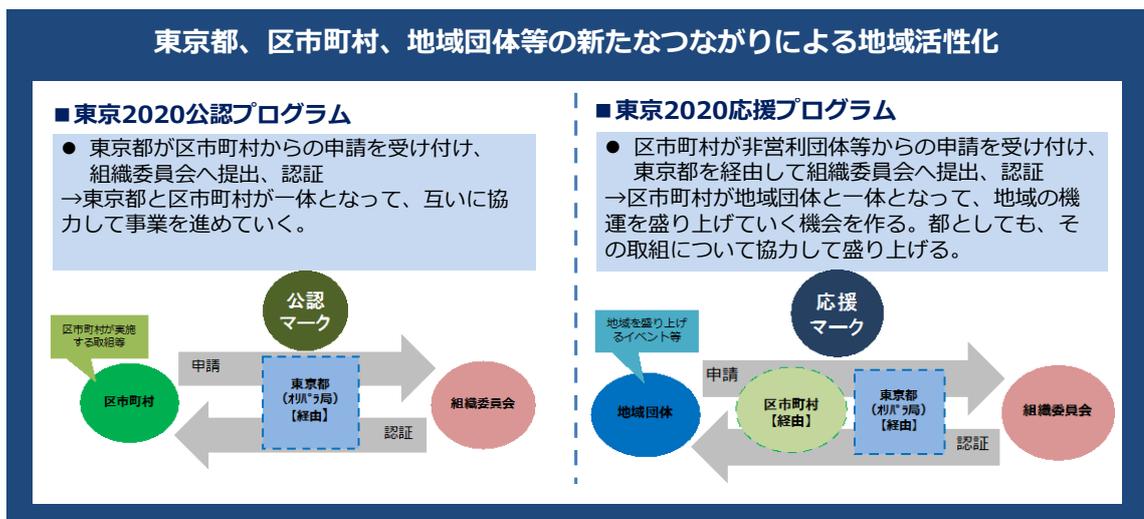


※出典：組織委員会「アクション&レガシープラン 2016 の策定及び東京 2020 参画プログラムについて」2016 年 8 月をもとに(株)丹青研究所が加工

## (3) 地方自治体からみた東京 2020 参画プログラムのメリット

東京 2020 参画プログラムを活用した、以下のような地域活性化への活用が提案されている。

- ・ 東京大会を契機に、地域住民や団体等の参画を促進。
- ・ 東京都と区市町村、区市町村と地域団体などの、新たな関係を創出。
- ・ 2020 年を契機とした新たな地域づくりを推進。



※出典：東京 2020 参画プログラムに係る都内区市町村説明会 配布資料

### 3. 東京 2020 文化オリンピック

#### (1) 文化オリンピックとは

- ・オリンピック・パラリンピック開催国において前の大会終了後から大会開催までの4年間に行われる文化・芸術に関わるプログラム。
- ※オリンピック憲章では大会の組織委員会は、必ず実施しなければならない。

#### (2) 東京 2020 文化オリンピックとは

- ・リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック終了後から実施。
- ・「あらゆる人々が参加できるプログラムを全都道府県において実施」することや、「多くの若者に文化芸術への参加を促進し、創造性を育成する」ことを目標とする。
- ・東京大会開会前からは集大成として、「東京 2020 フェスティバル（仮称）」の開催も予定。



※出典：組織委員会「東京 2020 文化オリンピックについて」2016 年 7 月 27 日

### 4. <sup>ビヨンド ニーゼロ</sup> beyond 2020 プログラム

#### (1) beyond 2020 プログラムの概要

- ・組織委員会が推進する東京 2020 参画プログラムとは別に、幅広い実施主体が参加できる認定制度。
- ・内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部のほか、内閣官房知的財産戦略推進事務局、文化庁、東京都生活文化局が推進する。
- ・平成 28 年 7 月には認定ロゴマークの公募を実施。制度に関する詳細は検討中。
- ・プログラムの認定キーワードとしては下記のもものが挙げられる。

#### キーワード

**地域性・多様性・創造性・国際化・多言語対応・共生社会・バリアフリー**